

20 前建第 809 号  
平成 20 年 10 月 10 日

国土交通省道路局長 殿

前原市長 松 本 嶺 男  
(建設水道部建設課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

新涼の候、貴職に置かれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本市の道路行政に対しご尽力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、標記のことにつきまして、別紙のとおり道路行政についての意見・提案を提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

福岡県 前原市

国道、県道を始め地方における道路ネットワークは、まだまだ不十分である。今後も国道、県道の整備促進を図っていただきたい。

また、地方における道路整備は、財源の不足により住民要望に応えられない状況で、道路特定財源が一般財源化されることで地方自治体の道路財源は一層厳しくなっている。なお、地方自治体においては、財政が厳しい中、平成12年4月1日の地方分権一括法により、里道等法定外公共物が国から市町村へ無償譲渡されたが、整備費、維持管理費の財政措置は皆無である。国においては、これらの状況をご理解いただき、何らかの財政措置を図っていただきたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

福岡県 前原市

○ 現状

- (1) 本市内の国道 202 号線は、主に通過交通を処理するものであるが、狭隘であることから歩道が整備されていない箇所や整備されていても人一人通るのが精一杯の箇所があり、歩行者・自転車通行に大変危険を感じている。
- (2) 福岡市から唐津都市圏への広域ネットワーク道路で、本市から西部方面を含む産業の拠点となる企業団地へのアクセス道路である 202 号バイパスが未整備である。
- (3) 本市の市街地中心部より西部の国道 202 号線において、JR と平行している部分があり、踏切において、停車スペースがなく、また、国道の交差点において右左折レーンがなく渋滞となっている。
- (4) 本市の市街地中心部から東側の国道 202 号線において慢性的渋滞となっている。

○ 課題

- (1) 交通量が多い国道において、交通弱者のための歩道が十分整備されていない。交通弱者も安全で・安心して通行ができるよう計画的な歩道設置がぜひ必要である。
- (2) 202 号バイパスがアクセス道路として利用されているが、本市の有田西交差点から西側真方交差点においては、道路がアップダウンのまま未整備であるため通行に支障をきたしている。
- (3) 踏切においての停車スペースの確保及び、国道の交差点において右左折レーンの確保が必要である。
- (4) 国道 202 号から 202 号バイパスを繋ぐ南北の道路整備及び英知機能を有する九州大学の移転を機に経済効果を引き出すための道路『通称・中央道路』の整備が急務となっている。

②-1 地域の現状と抱える課題

福岡県 前原市

<p>○ 現状</p> <p>(5) 本市の都市計画道路の整備率は35%であり、都市計画道路の目的である都市空間の確保による都市防災の面や、天災人災の場合の緊急用道路としての役割、沿道利用による民間開発の活性化、さらに市街地から202号バイパスへのアクセスによる経済効果の促進や、時間距離の短縮を求められる効果が停滞している。</p>	<p>○ 課題</p> <p>(5) 本市においては財源が厳しいことから、都市計画道路の整備推進を図るには、国における財政措置と市町村への道路特定財源に替わる財源確保対策が必要である。</p>
---	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

福岡県 前原市

国道、県道においては、通過交通を処理ため、渋滞を発生しないような道路ネットワーク作りを要す。生活道路は、主に市道が中心で法定外道路（里道）もその役割を果す。



今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県 前原市

<p>○ 重点事項</p> <p>(3) 少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成</p>	<p>○代表事例</p> <p>(1) 都市計画道路整備事業</p> <p>既計画道路を見直し、駅への既設市道路線を街路事業により整備を行う。</p>	<p>○期待する効果や評価等</p> <p>(1) 道路拡幅と歩道が整備され安全・安心のまちづくりの一躍となる。</p>	<p>○その他</p>
--	---	--	-------------